

管楽合奏は楽しい会？

No. 34 "ロマン派の管楽合奏曲で"

カスティールブレイズ(1784~1857)

「管楽六重奏曲」

(Cl)兼氏/天沼 (Fg)森川/三好 (Hn)吉野/市原

ライネッケ (1824~1910)

「管楽八重奏曲」

(Fl)岡高(Ob)橋原 (Cl)坂本/武田 (Fg)三好/角山 (Hn)吉野/松本

----- Intermission -----

ラハナー (1803~1890)

「管楽八重奏曲」

(Fl)信澤(Ob)橋原 (Cl)兼氏/天沼 (Fg)阿部/角山 (Hn)吉田/市原

T. デュボア (1837~1924)

「庭園にて」~管楽七重奏曲

(Fl)岡高/信澤(Ob)橋原 (Cl)坂本/武田 (Fg)阿部(Hn)松本

出演者の簡単なプロフィール(楽器別50音順)

(Cond & Fg)森川 一 (もりかわ はしめ)

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原幹氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、別科修了後元ハンブルク州立歌劇場奏者F.ヘンカー氏に師事。フリーの奏者として今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。演奏活動では「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川リード倶楽部」も主宰している。2002年に法政大学のOBで設立した「法政ファゴットの会」同人

(Fl)岡高 隆 (おかせ たかし)

京都大学交響楽団でフルート奏者、学生指揮者として活躍する。フルートを佐々木伸浩氏、持田洋氏に、フラウト・トラヴェルソを森本薫氏に師事。現在はアンサンブル・メゾン、東京アマデウス管弦楽団で演奏活動中。普段は某メーカーで化学の研究企画に携わる。「研究のアイデアは音楽で演奏する時のアイデアと共通するものがある」と主張し、部下連に愛されている。

(Fl)信澤達也 (のぶさわたつや)

東京大学音楽部管弦楽団で活躍し、その間フルートを磯部庄平氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団に所属、鉄鋼系化学メーカーの研究所でコーラルターを扱う日々。最近、半價の半分くらいの楽器を買ってしまった(但し、中古)今日も勿論、それで演奏。

(Ob)橋原千佳子 (くすはら ちかこ)

中学校オーボエを始め、藤原勲氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団に所属。大学へ大学院を通して、コンクリート相手の研究で手がザラザラした時期もあったが、現在は少し手にやさしい社会人となった。

(Ob)桃原健一 (とうばる けんいち)

東京藝術大学卒業。オーボエを齋藤勇二、似鳥健彦、小島薫子、小畑善昭、藤木聡の各氏に、室内楽を海鋒正毅、中川良平の両氏に師事。現在バロックから現代までオーケストラ、室内楽等で、更に最近ではポップスの分野でも活動して活動の幅を広げている。「伊予桑追悼演奏会」「アンサンブルノマド」「東京の夏音楽祭」等の演奏会に出演。「オブセッション」の演奏では作曲者篠原真氏本人から好評を得た。また、度々フィンランドのクフモ室内音楽祭に参加し研鑽を積んでいる。

(Cl)天沼隆彦 (あまぬま たかひこ)

小学校4年からクラリネットを柏代長明氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団員。ケヤノンのエンジニアとしてスタートしたが、その後経営コンサルティングを経て様々なドイツの会社の日本支社長を務める。2009年にドイツ企業相手の経営コンサルティング会社を設立。滞独13年。

(Cl)兼氏規雄 (かねうじ りお)

東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音大に留学する。帰国後水戸、東京でリサイタルを行い、水戸の演奏会はTV放送された。NHKFM、水戸芸術館主催事業などへも出演。元・水戸短大講師。現在は大東文化大学及び茨城大学非常勤講師を務めながら、室内楽活動を主に行っている。度々オペラシティで催しているリサイタルは音楽の衣装上で激賞された。水戸ゾリステン主宰。フルスヴァルト合奏団同人

(Cl)坂本沙織 (さかもと さおり)

茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学卒業。第26回茨城県新人演奏会奨励賞、第29回茨城県県民コンサート特賞並びに茨城新聞社賞、第5回長江杯国際音楽コンクール第2位、第12回クラシック音楽コンクール第3位(1位2位なし)、第4回クラリネット・アンサンブル・コンクール入選。これまでにクラリネットを、渡部浩子、吉成隆一、鈴木良昭、四戸世紀、J. Widmannの各氏に師事。2008年にはハノーファーで行われたニードーザクセン州音楽祭に招待され演奏する。水戸三高講師。